

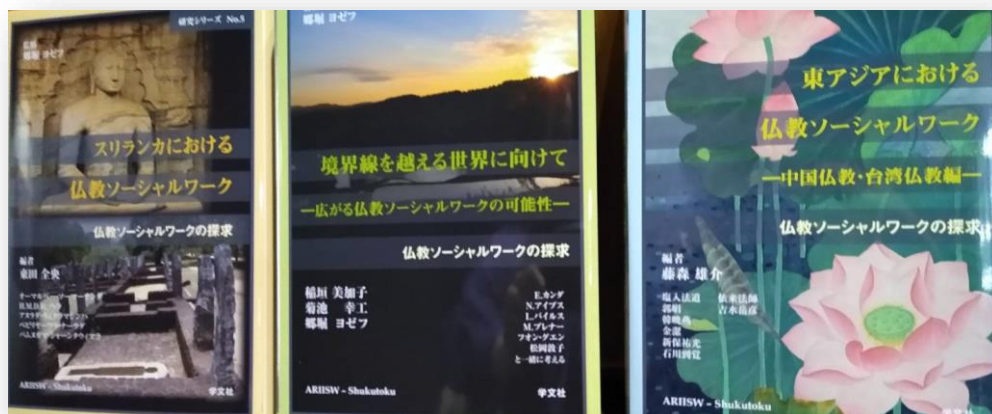
アジア国際社会福祉研究所 仏教ソーシャルワーク研究叢書シリーズ 出版のご案内



私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の一環としてスタートした当研究叢書は、継続してアジア各地域の仏教ソーシャルワークの現状をクローズアップしています。2021年、新たに3冊の本を出版、配本を始めました。出版社 (<https://www.gakubunsha.com/>) に直接注文することもできるほか、様々なオンライン書店プラットフォームで入手可能です。

これまでにラオス、ベトナム、タイ、モンゴルの研究叢書が和文、英文で出版されています。過去に発表された研究叢書につきましては、アジア国際社会福祉研究所までお気軽にお問合せください。
 (<https://www.ariisw.com/inquiry>)

仏教ソーシャルワーク研究叢書最新刊のご案内



東田全央(編)『スリランカにおける仏教ソーシャルワーク』

2020年、英語版として発行したスリランカの仏教ソーシャルワークの歴史的展開から現状まで映し出したものを基にした日本語版です。上座部仏教の背景をもつスリランカ現地の目線をお届けする一冊です。編集は青森県立大学の東田先生を中心に、上座部仏教やパーリ語、シンハラ語などに詳しい吉澤先生やシリパーラ・ウイラコーン先生にもご協力いただきました。

詳細はこちら→ <https://www.gakubunsha.com/book/b564827.html>

稲垣美加子、他(編)『境界線を越える世界に向けて』

2020年発行した北米のソーシャルワーク研究者へのインタビューをベースにした図書の和文です。カナダ・トロント在住の菊池先生の協力を得て、仏教ソーシャルワークをカナダとアメリカ合衆国の先生方と一緒に北米の視点から眺めることにより、様々な境界線を越えるソーシャルワークへの提言が見えてきました。

詳細はこちら→ <https://www.gakubunsha.com/book/b564829.html>

藤森雄介(編)『東アジアにおける仏教ソーシャルワーク』

これまで研究叢書シリーズは英文報告を先行にしながら研究成果をまとめてまいりましたが、本書は逆です。中国と台湾の両地域では新保先生(大正大学)と吉水先生を中心に調査研究が行われ、日本語でまとめられています。同じ大乘仏教を背景とする東アジア地域ではありますが、様々な事業・活動の紹介を通して数々の特徴が浮き彫りになりました。

詳細はこちら→ <https://www.gakubunsha.com/book/b570966.html>

ぜひご一読いただき感想をお聞かせいただければ幸いです。